

JSSZ MEETING 2017
日本動物分類学会第 53 回大会案内 海洋研究開発機構

日本動物分類学会の大会を以下の要領で開催いたします。今大会は分類学と情報学の関わり、およびその可能性を探るための、特別セッションを設定しています。皆様ふるってご参加下さいますよう、よろしく願いいたします。

▲ 概要

期日：2017年6月3日（土）～4日（日）
大会会場：海洋研究開発機構 横浜研究所[横浜市金沢区昭和町 3173-25]
懇親会会場：同上

▲ スケジュール

研究発表の申込数等によりスケジュールを変更する可能性があります。最新スケジュールは日本動物分類学会ホームページをご参照頂くか、大会事務局までお問い合わせください。

6月3日（土）

10:00～12:00 評議員会
12:00～ 受付
13:00～15:00 口頭発表
15:00～16:30 ポスター発表
16:30～17:45 総会、記念写真撮影
18:00～20:30 懇親会

6月4日（日）

9:00～10:00 受賞記念講演
10:00～12:00 口頭発表
12:00～13:00 昼食
13:00～13:55 特別セッション
13:55～17:00 口頭発表

▲ 参加申し込みなど

当日参加も受け付けますが、準備の都合上、出来る限り事前の申し込みをお願いいたします。参加費等は当日お支払い下さい。

参加申し込みならびに要旨提出締め切り：2017年5月8日（月）。

大会参加費

一般3000円，学生1000円

ただし、発表をしない学部学生の場合は無料とします。

懇親会

一般4000円，学生1000円（当日参加は参加人数によってお断りすることがあります）。参加される方は参加申し込みの際にお申し込み下さい。

お弁当（6月4日の昼食）

800円程度を予定。参加申し込みの際にお申し込み下さい。

なお構内の食堂は当日は開いていません。近隣にはファミリーレストランがありますが、他の食事処・コンビニエンスストアはやや離れているためお弁当の購入や持参をおすすめします。

▲ 大会会場へのアクセス

・JR 根岸線「新杉田駅」より徒歩 13 分
・京浜急行本線「杉田駅」より徒歩 15 分

・横浜新都市交通金沢シーサイドライン「南部市場駅」より徒歩15分
入構時は守衛室で受付を済ませてください。

※お車での来所はご遠慮下さい。
詳しくは以下の地図をご覧ください。
<http://www.jamstec.go.jp/j/about/access/yokohama.html>

宿泊の斡旋は行いません。なお関内、横浜駅周辺等が便利です。

▲ 参加・発表申し込み方法

参加及び発表をご希望の方は、以下の情報を大会事務局まで電子メール（使えない方は郵送）にてお送り下さい。受付の回答を差し上げます。万一、回答が来ない場合は事務局までご連絡をお願いします。

参加は学会員以外でも受け付けます。発表は当年の会費を納入した正会員、および名誉会員に限ります。正会員は、発表申し込み前に2017年の会費を必ず納入ください。共同発表者に学会員以外を含んでも構いません。

氏名：
一般・学生の種別： 一般・学生
所属：
連絡先住所：
電話：
E-mailアドレス：
お弁当（6月4日）： 要・不要
懇親会： 参加・不参加
発表： する・しない
発表方法の希望： 口頭・ポスター・
どちらでもよい のいずれかを明記
口頭発表のPCの種類： Win・Mac

講演者名（発表者の前に○印）：
演題：

▲ 発表

締め切りまでに講演要旨をお送り下さい。発表希望者の数により、事務局から発表方法（口頭・ポスター）の変更をお願いする場合があります。その際はご協力をお願いいたします。

講演要旨作成要領

- ・別紙の講演要旨の見本をご覧ください。
- ・A4用紙（縦）1枚に収まるようにご準備ください。
- ・タイトル、講演者（発表者の前に○印）とその所属、要旨本文の順としてください。
- ・文字サイズは12ポイントとし、行間は1.15行としてください。
- ・ファイル形式はMicrosoft Wordあるいはその他の編集可能なものとしてください（PDFは不可）。
- ・英語で発表される場合は、要旨も英文で構いません。
- ・大会事務局の方で書式を揃えるなど手を入れさせていただく場合があります。
- ・大会事務局まで電子メール（使えない方は郵送）にてお送り下さい。その際、件名を「動物分類学会講演要旨-発表者のお名前」としてください。受付の回答を差し上げます。万一、回答が来ない場合は事務局までご連絡をお願いします。

ポスター作成要領

ポスターは、縦180cm×横90cm以内の大きさで作成してください。

口頭発表要領

発表時間は12分，質疑3分の計15分を
予定しています。

▲ 大会実行委員会・事務局

大会長

白山 義久（海洋研究開発機構）

大会実行委員長

伊勢戸 徹（海洋研究開発機構）

大会実行委員

藤倉 克則（海洋研究開発機構）

中野 理枝（黒潮生物研究所）

神保 宇嗣（国立科学博物館）

参加申し込み・問い合わせ先

〒236-0001 横浜市金沢区昭和町
3173-25, 国立研究開発法人 海洋研究
開発機構（横浜研究所）データ管理技
術グループ内

日本動物分類学会第53回大会事務局

伊勢戸 徹

Tel: 045-778-5409（直通）

Fax: 045-778-5424

E-mail: jssz53th@jamstec.go.jp

沖縄島と瀬底島から得られた2種の単体性内肛動物 *Loxosomella* sp. と *Loxomitra* sp. (内肛動物門：ロクソソマ科)

○伊勢戸徹¹・Hinrich Nitsche²

¹海洋研究開発機構地球情報基盤センター；²Department of Zoology, Universities of Heidelberg

新たに沖縄島と瀬底島から採集された2種の単体性内肛動物 *Loxomitra* sp. と *Loxosomella* sp. について分類学的な検討を行った。両種とも海中に設置したスライドガラスに付着していたもので、よって共生性の類ではないと思われる。

Loxomitra sp. は特徴的な外部形質を持たず、類似した外観を持つ *L. kefersteinii* (Claparède, 1867) との区別が容易ではなかったが、体のサイズと触手の数の相関を詳細に比較することによって、それぞれの種に固有の最大触手数があること、また最大触手数に達する体サイズも大きく異なることが分かった。本種では同属としては初めて幼生が得られた。この幼生は apical organ を持つが frontal organ や眼点は持たない。この特徴は一部の *Loxosomella* (*L. atkinsae* Bobin and Prenant, 1953, *L. elegans* Nielsen, 1964) に似ているが、他の *Loxosomella* には似ないので、直ぐに2属間の関係性を論じられるものではない。

Loxosomella sp. は親個体の側面から生じた芽体が（一般には斜め前方に伸びるが）後方に伸びて成長する特徴を有している。この特徴は *L. vivipara* Nielsen, 1966 にしか知られていなかった稀な特徴である。一方、*L. vivipara* は萼部に透明な大型の細胞が並ぶ点、胃に lateral pockets がある点、萼部側面に張り出しがあってその縁に感覚毛がある点などが本種と異なる。本種は成長しても足（基部の付着器官）のサイズがほとんど大きくなるしないのも特徴である。

※ 本講演要旨は例であり、架空のものです。